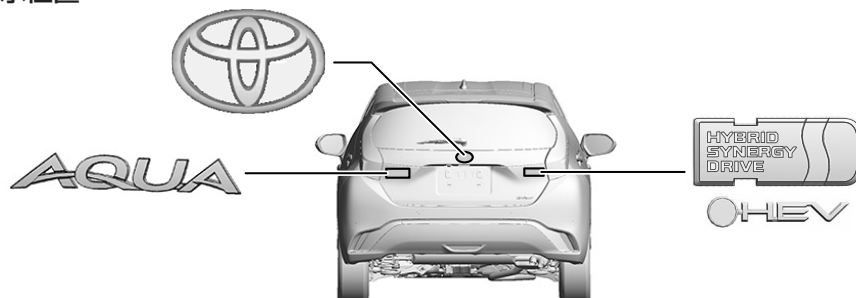


1. 識別 / 認識



エンジンが停止していても、車両が停止状態であるとは限りません。
車両が完全に停止されるまでは、車両が動き出すこともエンジンが突然再始動することもあります。

■ ログマークの表示位置

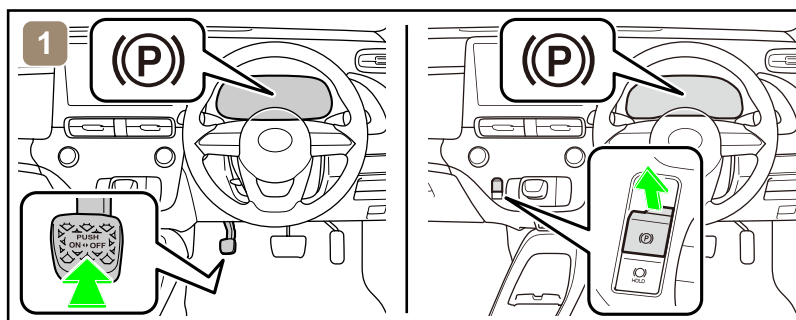


■ 動力源: リチウムイオンバッテリー、ニッケル水素バッテリー

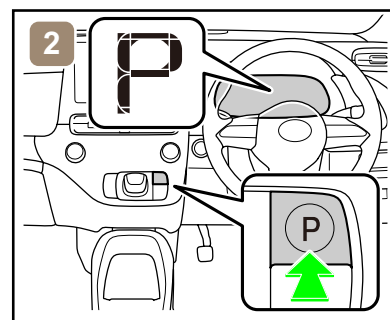


2. 固定 / 安定 / 持ち上げ

■ 車両を完全に固定します。



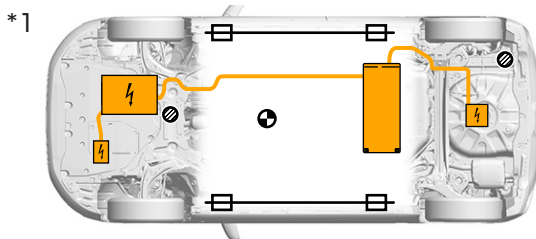
1. 全車輪に車輪止めをつけ、パーキングブレーキをかけてください。



2. P ポジションスイッチを押して P レンジに切り替えてください。

■ 固定・持ち上げ箇所

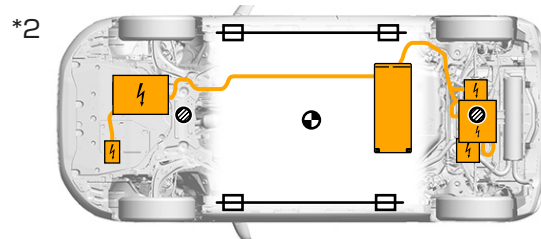
木片等の支持物を使用してフロント及びリヤピラー下の 4 点を支えます。



● ジャッキ取り付け位置

□ サポート位置

*1: 2WD



● 車両重心

*2: 4WD



木片や救出用リフトエアバッグ装置などを排気システム、燃料システムあるいは高電圧ケーブルの下に置かないでください。火災、感電あるいは燃料漏れが発生するおそれがあります。

3. 危険回避 / 安全規則

■ 以下のシステムを操作する必要があるば、バッテリーを切り離す前に操作を行ってください。

電動ドアロック

パワーウィンドウ

パワーシート

バックドアオープナー

電動パーキングブレーキ

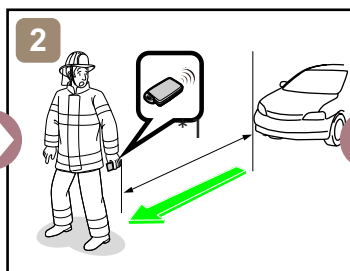
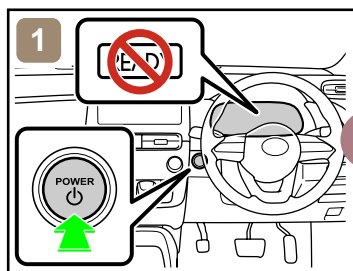
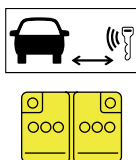
エレクトロシフトマチック

12 V バッテリーを切り離すと、電動部品が作動しなくなります。

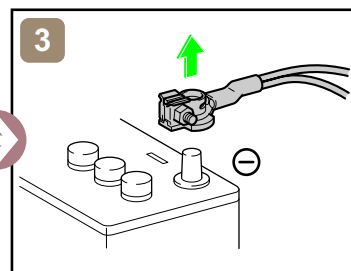
ID No.	バージョン No.	発行	ページ
AQUA10	03	2025 / 09	2 / 4

■ 以下の主要手順または代替手順を実施し、車両を完全に停止してください。

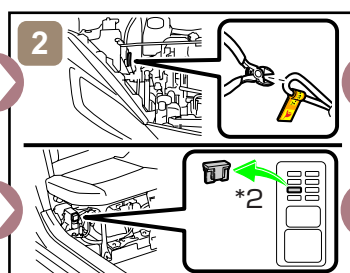
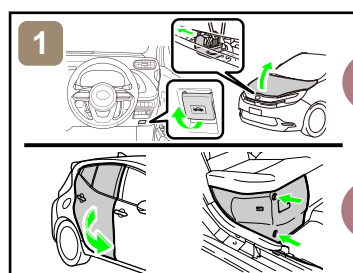
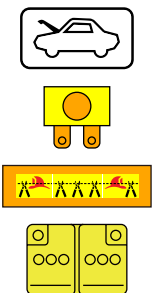
<主要手順>



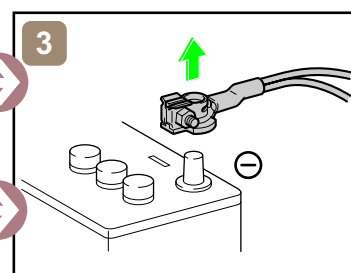
*1: 5 m 以上



<代替手順>

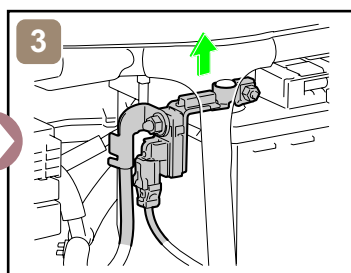
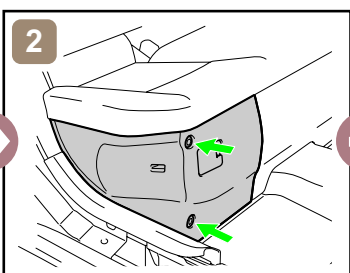
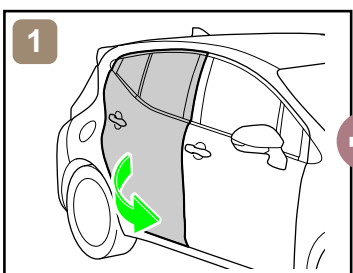
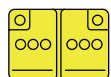


*2: PM_IGCT ヒューズ (7.5 A 茶色)



事故によってエアバッグが作動した場合、高電圧システムは自動的に遮断されます。

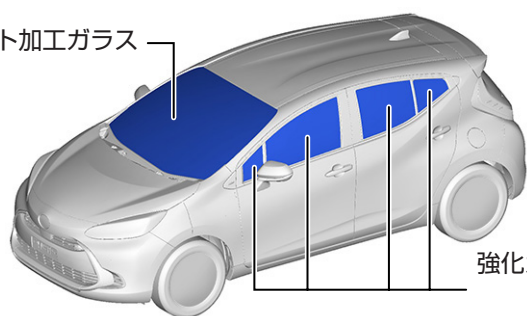
■ 12V バッテリーへのアクセス



4. 乗員へのアクセス

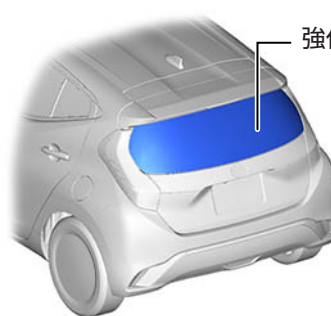
■ 窓ガラス

ラミネート加工ガラス



強化ガラス

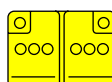
強化ガラス



5. 貯蔵エネルギー / 液体 / ガス / 固体



・ 高電圧リチウムイオンバッテリー: 201.6 V
・ 高電圧ニッケル水素バッテリー: 177.6 V



低電圧バッテリー: 12 V



ガソリンタンク: 36 L

ID No.	バージョン No.	発行	ページ
AQUA10	03	2025 / 09	3 / 4



- これらを扱う作業を行う際は、適切な保護具を着用してください。
- 火災を含むいかなる場合でも、バッテリーカバーを破壊したり取り外さないでください。重度のやけど、または感電による重大な傷害や死亡といった事態が発生するおそれがあります。

6. 火災の対応



大量の水で消火を行ってください。

大量の水をかけることが難しい場合は、高電圧バッテリーが燃え尽きるまで待つことが推奨されます。



再点火の可能性あり！



ガス封入ダンパー

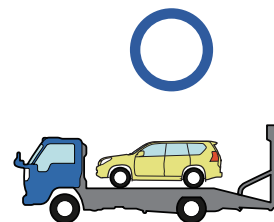
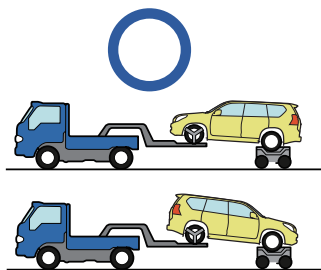
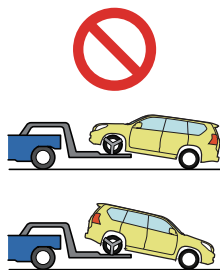
ミサイル効果が発生するおそれのあるガストラットについては部品配置図を参照。

7. 水没の対応



車両が水没しているときは、サービスプラグを含む高電圧部品やケーブルを触れないでください。触れると感電するおそれがあります。車両を水から引き上げて作業を実施してください。

8. 牽引 / 移動 / 保管



再点火の可能性あり！

他の車両から安全な距離（15 m 以上）離して保管してください。

9. 重要補足事項

詳細は、「レスキュー時の取扱い」を参照してください。
<https://global.toyota.jp/your-vehicle/quick-reference-sheet/>

	ID No.	バージョン No.	発行	ページ
	AQUA10	03	2025 / 09	4 / 4